

学校だより

平成30年 1月号

<教育目標> 意欲を育て 夢を育む学校

大阪狭山市立第七小学校

“新しい発見”のある一年に

校長 沼田 貞治

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

皆さまよいお正月をお迎えになられましたでしょうか。また新たな年に当たり、どんな年になってほしいか、していこうかと願われましたでしょうか。

私は毎年近くの布忍（ぬのせ）神社に初詣に行くのですが、神社がテレビの番組やグループのCMに取り上げられて一躍有名になり、参拝客が境内からあふれていました。お賽銭をあげるだけで30分ほどかかってしまいました。昨年まではありえないことです。メディアの力のすごさと、恐ろしさを感じました。

昨年末、教科書から坂本龍馬が消えるかもというニュースが流れていました。今まで授業で1時間かけて話をしてきた者にとっては「今更なんでやねん」という思いがあります。これまでドラマや特集で繰り返し取り上げてきた、日本を近代国家に導いた人物をいとも簡単に「不要」とするのは、なんとも釈然としない思いです。（まだ決定ではありませんが）

実は私、歴史はほとんど趣味です。歴史の何がおもしろいのかというと、いろいろあるのですが、「宝さがし」をしている感覚、新しいもの（知識）と出会うという感覚がとてもおもしろいところです。例えば、坂本龍馬が勝海舟を暗殺しに行って、逆に勝海舟という人物にほれ込んで弟子になったりとか、新選組に追いつめられて、寸前のところを宿屋の仲居さんに助けられ、のちにその女性を妻として新婚旅行に行ったりとか、そういう**新しい発見**がたくさんあって、何か**宝物を見つけた感覚**がとても楽しいです。

子どもたちには新しい年、何か**新しい発見をしよう**と話していこうと思います。（歴史には全然こだわりません）いろんなことに興味を持ち、いろんな経験をして、たくさんの発見をして、いっぱい感動する1年になってほしいと思います。



最後になりましたが、新年に際し、子どもの健やかな成長をめざして職員一同気持ちを新たにがんばってまいります。どうぞよろしくお祝い申し上げます。